

労働環境改善の活動方針

1. 目的

地元の安定雇用を確保しつつ必要な作業員を引き続き確保するために、作業員が安心して働けるような労働環境の改善を目指す。具体的には他の発電所と同等以上の労働環境を目指し、労働環境全般について先取りした対応を行うとともに、定期的にフォローを行い改善を行っていく。

2. 実施内容

- ・線量データ等の一元化による期限管理（WBC受検，健診）のシステム化
- ・災害発生の未然防止に資する対策の実施
- ・医療体制の維持
- ・退職者も含めた長期健康管理の実施
- ・線量予測に基づいた作業員計画・実績管理（地元雇用状況含む）
- ・作業員の安定確保と地元雇用の拡大
- ・定期的なモニタリング結果に基づいた生活環境・労働環境の改善

3. 主な課題

- ・1Fのこれまでの状況を踏まえた災害発生リスクの把握。
- ・熱中症対策実施の定着化
- ・個人線量管理の信頼性向上，防護装備の軽減化。
- ・医療職の確保と患者搬送手段の強化
- ・長期健康管理の円滑な導入
- ・作業員計画の策定と作業員の確保状況の把握（地元雇用状況含む）
- ・雇用誘因策・地元雇用策の整備
- ・免震重要棟の非管理区域化（実施中）
- ・企業棟の線量低減
- ・食事メニューの一層の改善
- ・警戒区域解除に伴う出入り拠点の整備

4. 予定

① 至近1ヶ月の予定

- ・長期健康管理の円滑な導入に向けた諸準備
- ・作業員の確保状況と地元雇用率の実態把握（継続的に実施）
- ・労働環境・生活環境に関する企業との意見交換
- ・へり搬送実現
- ・防護装備の軽減化検討（移動時のタイベック省略）

② 至近1年間の予定（新規案件のみ記載）

- ・作業員待遇条件や協力企業の運営体制の整備
- ・1F特有の災害発生要因の分析・取り纏め

- ・夏期における熱中症対策の計画及び実施
- ・線量データ等の一元化による期限管理（WBC 受検，健診）のシステム化
- ・長期的健康管理の着実な実施
- ・各医療拠点での医療体制の継続
- ・免震重要棟の非管理区域化（実施中）
- ・企業棟の線量低減実施
- ・食事の多様化，温かい食事の提供について検討実施
- ・アンケートによる作業員の満足度と改善要望の調査（継続的に実施）
- ・周辺状況に応じた出入拠点の整備への対応
- ・放射線管理要員，水処理装置運転・保守要員の育成

以上